



題字 井口 文章
再刊 第438号
印刷・発行 錦城高等学校新聞委員会
編集室 2023

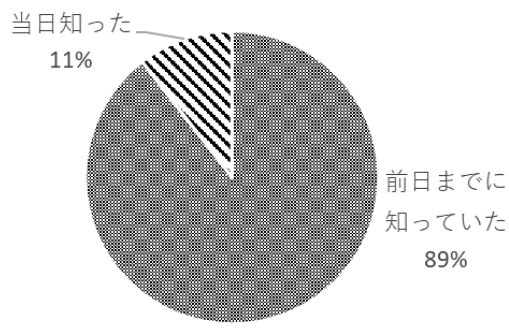
みんなでつくる 錦城高校新聞

一面：生徒総会を振り返る
生物部が偉業達成！
二面：この秋、大活躍の部活を一挙紹介！
びくずが新入部員を募集

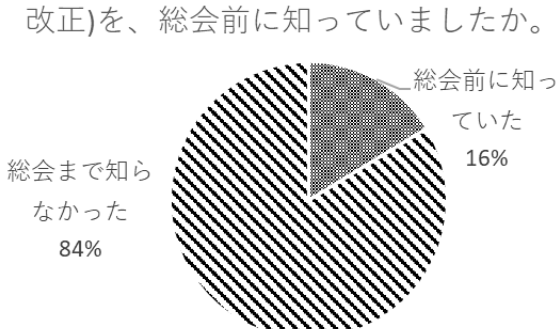
生徒総会を再検証
会則改正案 事前に徹底周知を

Q1:生徒総会、生徒会選挙が11月15日(水)に開催

されることを知っていましたか。



Q2:生徒総会の議題(文化祭決算、生徒会会則の改正)を、総会前に知っていましたか。



アンケート結果のグラフ(小数点以下四捨五入)

11月15日(水)の生徒総会において、生徒会会則の改正案の投票が行われた。今回は改正項目が24項目あったため、詳細説明は生徒会報で行われた。しかし、改正内容に関する事前説明が十分だったのか疑問視する声も挙がった。今号では会則改正が適切に行われたのか検証する。

生徒総会実施の認知度は？

新聞委員会は11月25日(土)から28日(火)にかけて、各学年のクラスルームでアンケートを実施した。回答数86。今回は生徒総会の実施や議題の認知度、総会の内容について、質問した。

生徒会会則が改定へ

今回の改正は現行の会則が制定された際の生徒会システムと現在の生徒会システムの間にある差異をなくし、現状の活動状況に適した会則に変更することを目的として行われた。投票は、11月15日水曜日に行われた生徒会選挙立会演説会後にGoogleフォームのアンケートによって実施され、投票数は1339票、無効投票数は306票だった。

Table with 3 columns: 項目, 賛成, 反対. Lists 22 items related to the student council regulations.

実際の生徒会報

今回の会則改正を経て、生徒会はどのような活動をし、錦城生の生活はどう変わるのだろうか？先月発行したばかりの新生徒会の活動に注目していきたい。

滑り行うための仕組みを構成している大切な要素だ。今回の投票では多くの無効投票が出た。次は、投票が行われることがあれば、自身が生徒自治の一員である自覚を持ち、きちんと投票してほしいと思う。

(蘭)

川の環境を錦城の水槽へ
生物部が研究発表行う

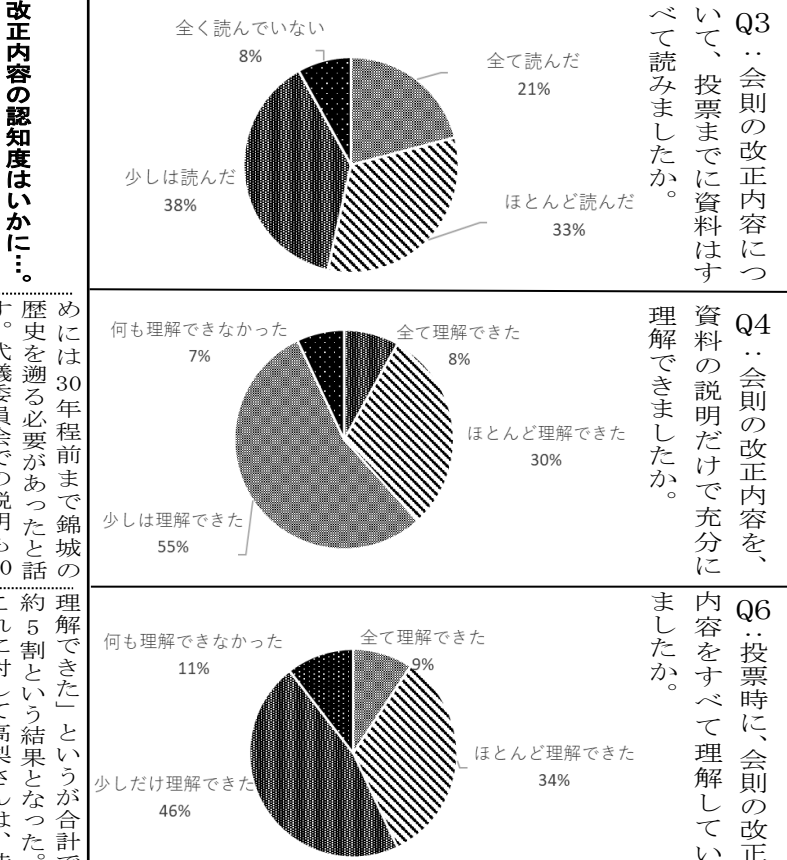
10月29日(日)に『INNOVATION AQUARIUM EGG』に出場した生物部の志賀龍之介さん(2B)、長田なつみさん(2I)、田口莉功さん(2K)に、大会について取材をした。この大会は、アクアリストという水槽の設計などを手掛ける方々の「たまご」の育成を目指した、高校生のための研究発表の場だ。錦城生物部は「わんど」という川の中の特殊な環境を水槽で再現したという。



川の水環境を水槽で再現

わんどとは、本川につながって周囲が岩などに囲まれて水流が少ない地形のことだ。日本では京都の淀川などでみられる。出場した3人に作品のどこにこだわったかを尋ねると「水槽に酸素を供給するエアレーションをなくし、水質を良く保つる過機から発生する水流をできるだけなくしたところだ」と話した。また今回の大会を受けて、どのように活動を続けていきたいかを聞くと「生物の保全と繁殖にもっと力を入れつつ、来年も出場できるように頑張りたいです」と意気込みを語った。(榎)

Q3 改正内容について投票までに資料はすべて読みましたか。
Q4 会則の改正内容を、資料の説明だけで十分に理解できましたか。
Q5 改正内容について各クラスで代議員への質疑応答が行われましたか。
Q6 投票時に、会則の改正内容をすべて理解しましたか。



Q3 改正内容について投票までに資料はすべて読みましたか。
Q4 会則の改正内容を、資料の説明だけで十分に理解できましたか。
Q5 改正内容について各クラスで代議員への質疑応答が行われましたか。
Q6 投票時に、会則の改正内容をすべて理解しましたか。

むらさき草

先月13日、三木の紅白歌合戦に出演するアーティストが発表された。今年の出演者には、K-POPアイドル「THEの日本人メンバーユニット」[MISANO]、同じくK-POPアイドルの「Stray Kids」など新たな顔ぶれが並んだ。STARDIO ENTERTAINMENT(旧ジャニーズ)事務所からのアーティストが、一組も出演しないことがネットなどで話題となった。この背景には、「ジャニーズ性加害問題」があるといわれている。

「スキーが好き」になるために 2年生修学旅行インタビュー



界隈口前の修学旅行の絵

来年の1月29日(月)から2月2日(金)の4泊5日、山形県の蔵王にて60回生の修学旅行が実施される。今回の修学旅行はコロナ禍以前と同様の形式で行われる。そこで修学旅行についてチーフの朝倉佑季先生に取材を行った。修学旅行では1~4日目は蔵王スキー場でスキーを行い、最終日には山形の文化体験を行う予定となっている。朝倉先生は準備として体調管理を挙げていた。理由は修学旅行では例年、足の痛さを訴える人が多く、4日目ではスキーができないと宿で待機する人が続出するからだ。そのため筋力トレーニングを欠かさないようにと強調して話す。また、修学旅行成功のために必要なことについて「生徒一人ひとりが自主性を持って行動すること」を意識してほしいとも話した。そして「2年間で行事が沢山ありましたが、コロナを気にせずに行えること、そして錦城高校の伝統イベントである今回の蔵王スキー旅行ができることは60回生にとっても良いことなので、楽しみにしてください」と意気込んだ。朝倉先生は60回生全体に向けて「入学式で『スキーが好き』と言っていたように、学年主任の太田先生肝いりのイベントなので是非積極的に協力してほしいです」と語り、最後には重要なこととして「修学旅行を楽しみたいのならまず勉強をしっかりしてください」と締めくくった。(月)

熱気で寒さを吹き飛ばせ

陸上部 関東新人大会2位 将棋部 空手道部も関東へ

陸上部

10月21日(土)、22日(日)熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催された関東新人大会に出場した早川愛花さん(2L)が、2位に入賞した。早川さんは試合について「とても嬉しくも、悔しくもありました。前日の大会で失敗したスタートを改善してうまくできたことはよかった。来年の夏の関東大会では1位をとってインターハイに出たいです。応援お願いします」と力強く意気込んだ。

将棋部

11月12日(火)、都立大泉高校にて行われた全国高文連将棋新人大会東京地区予選・関東大会東京予選に将棋部が出場した。女子は選手権戦、男子は奨励の部でそれぞれ第4位、第5位に入賞し、渡辺千紗さん(2J)が12月に行われる関東大会への出場を決めた。渡辺さんは、今回の結果を受けて「昨年と順位は同じですが、着実に成長を感じます」と話した。関東大会へ「少しは多く勝てるように頑張りたいです」と意気込んだ。

空手道部

空手道部は、11月12日(月)に行われた東京都秋季新人大会(団体組手)に三人制女子団体組手と三人制男子団体組手が出場した。三人制女子団体組手は優勝し、1月17日(水)から18日(木)にかけて東京武道館で行われる関東高等学校空手道選抜大会に出場することが決定した。また、三人制男子団体組手では準優勝を飾った。三人制男子団体組手メンバーの一員の、小林奈央海さん(2A)は今回の大会を振り返って「優勝することができてよかった。練習の成果を感じることができてよかった」と話した。



これまでの練習を振り返る空手道部の2人

田大輝さん(2H)の4人。活動は一年間ずっとやってきていて大変だったが、それ以上にやりがいがあった。ぜひ、びっずの活動に参加してみたい。皆さんの将来につながることは間違いなく、ぜひ、びっずの活動に参加してみたい。皆さんの将来につながることは間違いなく、ぜひ、びっずの活動に参加してみたい。

小平の農業を錦城で広める

「びっず」1年生メンバー募集

11月10日(金)の放課後、60回生の探究活動チーム「びっず」による1年生向け説明会が行われた。「びっず」の活動は来年度にも引き継がれるため、活動を行っていくチームメンバーを募集した。今回は、錦城祭で小平の農家から取り寄せた野菜の販売活動の報告が行われた。もともとは60回生が1年生だったとき、学年の探究学習の一環として始まった企画である。



真剣に説明を聞く

今回の活動で一番苦労したのは、農家との交渉だ。何の経験もない高校生に丹精をこめて育てた野菜を預けることに対して不安感を抱く農家が多く、依頼を受けてもらえる農家を探すのに苦労した。この「びっず」のメンバーは協力してくれる農家を粘り強く探し続け、その結果、錦城周辺にある多くの農家に野菜を提供してもらった。錦城祭2日間の販売では130人が購入し、87000円の売り上げを出すことができた。活動を行った「びっず」のメンバーは森田優花さん(2I)、秋山紗璃さん(2D)、横溝遙さん(2J)、高

新聞委員会今年も最優秀賞受賞

11月18日(土)に三輪学園高等学校・中学校にて2023年度第39回東京都高等学校新聞コンクールが行われた。コンクールの前には、東京新聞の編集委員を務める杉谷剛さんから東京新聞の紙面を元にした、新聞の作り方についての講演会が行われた。その後行われた表彰式にて、新聞委員会は17年連続となる最優秀賞を受賞し、来年の8月に行われる第48回全国高等学校総合文化祭2024ぎふ総文に出場することが決定した。新聞委員会委員長の山本葵さん(2I)は、「都1位の成績である最優秀賞を受賞することができて、とてもうれしく思います。この成績に恥じぬよう、これからも努力を続けていきたいと思ひます。これからも新聞づくりへのご協力をお願いします」と意気込んだ。(紫)



講習を行ってくださった杉谷さん

銀杏舞うよけて跳ねてはローファーのすりへる底に笑う友達 文芸部 都大会で優秀賞受賞

11月3日(金)にハリウッド大学院大学にて開催された、第46回東京都文化祭文芸部門中央大会及び第40回文芸部のつどい短歌部門にて小川由日さん(2H)が優秀賞を受賞した。実際に出品した作品は「銀杏舞うよけて跳ねてはローファーのすりへる底に笑う友達」だ。小川さんは以前から、小平ロードを歩く錦城生のローファーがすり減っていることを句の中に入れていたそう。この句を作る際に意識したことは、舞う銀杏という部分で読者の視線を上から下に下げることで、下にあるローファーへ意識を向けられるようにしたことだ。小川さんは「自分が満足できるものを作りたいです」と今後に向けて意気込んだ。(紫)



活動中の文芸部

己の正義を信じて

「12人の怒れる男たち」とは、11月1日(水)ルネこだいにて1・2年生合同での芸術鑑賞教室が行われた。今回は演劇の「12人の怒れる男たち」の話を聞いた。12人の男たちが、少年が父親を殺した嫌疑をかけられていながら、殺人事件について討論する。陪審員制度においては、全陪審員の投票が満場一致でない限りは執行されない。最初の投票で、有罪と切り切った。満場一致とならなかつたため、陪審員が自分の疑問を主張し、有罪と切り切れないまま、陪審員たちが「幕開けの場面」に力を入れました。この演劇で最も力を入れた場面は、「幕開けの場面」に力を入れました。この演劇で最も力を入れた場面は、「幕開けの場面」に力を入れました。



びっずのメンバーたちが笑顔でびっず!

小平の歴史を身近なものに 映画研究部 全国へ

映画研究部は11月19日(日)、第46回東京都高等学校文化祭ビデオメッセージ部門で都準優勝を受賞した。これは第48回全国高等学校総合文化祭2024ぎふ総文の予選を兼ねており、映画研究部を進めるうちに、日本中を見跡をみんなにも知ってほしいと思うようになった。また、各地域の良いところをアピールできるということも、制作への更なるエネルギーになったと振り返る。注目ポイントとして、島崎さんは、鈴木遺跡の貴重さを伝えるために石を使うなどして、あえてアナログな表現をしたところだと話す。また、市役所の専門家のみならず、小平市立鈴木小学校の教職員や小学生に話を聞き、市民にとって身近さを表現したという。最後に島崎さんは「文化祭などで、ぜひこれからも映画祭の作品を見て頂けたらと思います」と締めくくった。(晋)



作品への熱い思いを語る

己の正義を信じて

「12人の怒れる男たち」とは、11月1日(水)ルネこだいにて1・2年生合同での芸術鑑賞教室が行われた。今回は演劇の「12人の怒れる男たち」の話を聞いた。12人の男たちが、少年が父親を殺した嫌疑をかけられていながら、殺人事件について討論する。陪審員制度においては、全陪審員の投票が満場一致でない限りは執行されない。最初の投票で、有罪と切り切った。満場一致とならなかつたため、陪審員が自分の疑問を主張し、有罪と切り切れないまま、陪審員たちが「幕開けの場面」に力を入れました。この演劇で最も力を入れた場面は、「幕開けの場面」に力を入れました。

己の正義を信じて

「12人の怒れる男たち」とは、11月1日(水)ルネこだいにて1・2年生合同での芸術鑑賞教室が行われた。今回は演劇の「12人の怒れる男たち」の話を聞いた。12人の男たちが、少年が父親を殺した嫌疑をかけられていながら、殺人事件について討論する。陪審員制度においては、全陪審員の投票が満場一致でない限りは執行されない。最初の投票で、有罪と切り切った。満場一致とならなかつたため、陪審員が自分の疑問を主張し、有罪と切り切れないまま、陪審員たちが「幕開けの場面」に力を入れました。この演劇で最も力を入れた場面は、「幕開けの場面」に力を入れました。



「幕開けの場面」に力を入れました

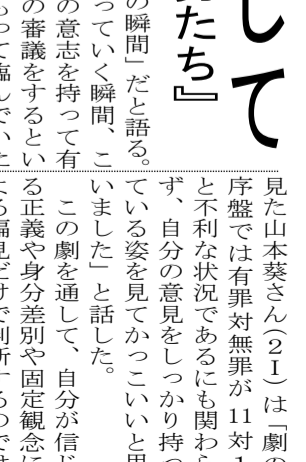
己の正義を信じて

「12人の怒れる男たち」とは、11月1日(水)ルネこだいにて1・2年生合同での芸術鑑賞教室が行われた。今回は演劇の「12人の怒れる男たち」の話を聞いた。12人の男たちが、少年が父親を殺した嫌疑をかけられていながら、殺人事件について討論する。陪審員制度においては、全陪審員の投票が満場一致でない限りは執行されない。最初の投票で、有罪と切り切った。満場一致とならなかつたため、陪審員が自分の疑問を主張し、有罪と切り切れないまま、陪審員たちが「幕開けの場面」に力を入れました。この演劇で最も力を入れた場面は、「幕開けの場面」に力を入れました。

「12人の怒れる男たち」とは、11月1日(水)ルネこだいにて1・2年生合同での芸術鑑賞教室が行われた。今回は演劇の「12人の怒れる男たち」の話を聞いた。12人の男たちが、少年が父親を殺した嫌疑をかけられていながら、殺人事件について討論する。陪審員制度においては、全陪審員の投票が満場一致でない限りは執行されない。最初の投票で、有罪と切り切った。満場一致とならなかつたため、陪審員が自分の疑問を主張し、有罪と切り切れないまま、陪審員たちが「幕開けの場面」に力を入れました。この演劇で最も力を入れた場面は、「幕開けの場面」に力を入れました。

林の伐採が行われました!

10月21日、早川愛花さん(2L)が12月に行われる関東大会への出場を決めた。渡辺さんは、今回の結果を受けて「昨年と順位は同じですが、着実に成長を感じます」と話した。関東大会へ「少しは多く勝てるように頑張りたいです」と意気込んだ。



- 須加湧大さん(2E) 女子800m7位
- 太田結菜さん(2L) 女子1500m3位
- 女子3000m3位
- 早川愛花さん(2L) 女子3000m5位
- 陸上競技部 一回戦敗退
- ▽9月2日・3日 支那新人大会 男子100m3位 男子200m5位
- ▽10月1日 右記5選手 新入大会進出 ソフトボール部
- ▽10月1日 一回戦勝利 都大会進出 団体総合6位入賞
- ▽10月8日 東京都高等学校体操競技 1年生大会
- 陸上競技部
- ▽10月20日 U18陸上競技大会 女子3000m競歩
- 早川愛花さん(2L) 女子3000m競歩
- 吉川佳凛さん(3C) 女子3000m競歩
- ▽10月21日 関東新人大会 女子5000m競歩2位
- 早川愛花さん(2L) ソフトボール部
- ▽10月29日 東京都高等学校女子ソフトボール新人大会都大会 一回戦敗退